

平成 30 年度安芸高田市教育委員会会議

第4回臨時会

平成 31 年度使用小学校教科用図書(「特別の教科 道徳」を除く)採択会議録(概要)

平成 31 年度使用中学校教科用図書(「特別の教科 道徳」)採択会議録(概要)

1 日 時 平成 30 年 8 月 10 日 (金) 15 時 00 分から 16 時 30 分まで

2 会 場 安芸高田市民文化センター 301 研修室

3 出席委員等 教 育 長 永井 初男

教育長職務代理者 上田 隆之

委 員 天清 一 亮

委 員 山本 博明

委 員 亀井 聖

委 員 金川 佳寛

4 出席職員

学校教育課 課 長 佐々木 幸浩

学校教育課 学校教育指導係 指導主事 栗原 団司

教育総務課 専門員 下中 裕子

会 議 概 要

それでは、定刻になりましたので会議を始めさせていただきますと思います。永井教育長で、会議を開会し、進行していただきますようお願いをいたします。

教育長

それでは、教育委員の皆様方におかれましては、暑い中また、お忙しくされておられる中、急遽教育委員会会議を変更させていただくというようなことで、大変ご心配、ご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。7月初めの豪雨災害によって、市の様々な行事等も中止あるいは縮小・延期という形で教育委員会が関係します行事におきましても、市民合唱祭の中止に始まり、市の一大イベントであります、高校生の神楽甲子園も二日間の日程が一日になるという様なところで影響を受けたところでございます。そういった中で、残念ながら一名の行方不明者はございますが、少しずつ復旧に向けての動きというのも増えてきております。不明の方は、捜索が続いているということで、市の災害対策本部会議は立ち上がったままの状態、今も継続しておるということでございます。そういった中で、先般はこの夏の各種全国大会の壮行会を実施していただきまして、教育委員の皆様にも参加いただきました。明日の早朝の出発となりましたが、6時45分位には、この(クリスタル)アージュを出発いたしまして今年度の海外派遣事業へ団長、副団長を含めて、20名の生徒と合計22名の団でニュージーランドの方へ出発をしてくれます。また、明日、これは夜になりますが、今年度のスポンサードゲームということで、サンフレッチェ広島が、長崎のV・ファーレン長崎というチームですが、たまたま広島と長崎の試合ということで、ピースマッチと位置づけられて安芸高田市からも多くの応援者が参加をしてくださるということになっております。猛暑が続く中で、様々な取り組みが進んでおります。本日は大きくは、教科書選定そしても

	う一つは、色々のご心配をおかけしましたが、高宮において、学校統合準備委員会が今晚、7時30分から立ち上がるということになりましたので、それに伴っての若干の修正等について審議をいただくこととしております。どうか宜しく願いをいたします。
教育長	それでは、座って進めさせていただきますが、雑駁な報告となってしまいましたが、何か質問等ありますでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	質問は無いようですので、私からの報告は終わらせていただきます。ここで議事に入る前に、本日の議事運営についてお諮りをいたします。本日の会議日程の内、議案第31号「平成31年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）及び中学校で使用する教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択」については案件の性格上、審議は秘密会とし、会議は非公開としたいと思っておりますが、この件について事務局から説明を求めます。
課長	それでは、失礼します。教科書採択における公正確保の徹底等につきましては、これまでの文部科学省の通知等を基に説明をしてきたところでございます。とりわけ、平成30年3月31日付の文部科学省通知にも、「教科書採択については教科書発行者に限らず、外部からのあらゆる働きかけに左右されること無く、静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ、適正に行うように努めること。教科書採択に係る教育委員の会議を行うに際しては、静ひつな審議環境の確保等の観点から検討を行い、会議の公開・非公開を適切に判断すること。」とあります。一方で、開かれた採択を進める必要があることから、広島県教育委員会また、本市の教科用図書の採択基本方針においては、「採択結果及び採択理由については採択後、遅滞無く公表する。」と定めているところでございます。以上のことから、本市における教科用図書の採択における会議については、非公開とすることを提案させていただくものでございます。以上でございます。
教育長	只今の事務局からの説明のとおり、議案第31号は秘密会とし、会議は非公開とすることにご異議ございませんか。
委員一同	ありません。
教育長	異議が無いようですので、議案第31号は秘密会とし、会議は非公開とすることに決定しました。
教育長	これより議事に入ります。日程第1「会期の決定について」を議題とします。お諮りします。会期は本日一日間としたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。
委員一同	ありません。
教育長	異議なしと認め、会期は本日一日間といたします。続いて、日程第2「会議録署名委員の指名」をおこないます。本日会議録署名者には、会議規則第18条第2項の規定により、上田委員・天清委員を指名いたします。会議録が調整されましたら、署名をよろしく願いいたします。
教育長	それではここで、先ほどの決定どおり議案第31号「平成31年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）及び中学校で使用する教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択」については、会議は非公開としますので、関係する職員以外は退席をしてください。暫時休憩といたします。
—休憩— 関係者以外退席。	
教育長	休憩を閉じて、会議を再開いたします。これより、議案の審査に入ります。議案第31号「平成31年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）及び中学校で使用する教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」）の採択」について提案理由及び議案の説明を求めます。
課長	それでは、議案第31号「平成31年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書（「特別の教科

	<p>道徳」を除く)及び中学校で使用する教科用図書(中学校「特別の教科 道徳」)の採択について、提案理由をご説明いたします。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6項6号の規定に基づき、平成31年度から安芸高田市立小学校及び中学校で使用する教科用図書を採択するものでございます。8月10日付けで、安芸高田市採択地区選定委員会会長より調査研究結果について答申が提出されておりますので、この答申を基に教育委員会として採択をしていただきますよう、ご提案をするものでございます。続きまして、議案の説明をさせていただきます。議案に添付しております一覧が、提案をさせていただく種目ごとの教科用図書と基本採択理由でございます。また、別冊として資料としてお配りさせていただいておりますのが、安芸高田市採択地区選定委員会から提出されました調査研究結果についての答申でございます。採択すべき教科用図書として、提案させていただく図書は、選定委員会が第一推薦として答申したものでございます。これより、担当者から教科ごとに採択理由等の説明をいたしますので、ご審議のほどを宜しくお願いいたします。</p>
教育長	<p>只今の課長からの説明について、質問等ございませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>それでは、指導主事、説明をお願いします。</p>
指導主事	<p>選定委員会の答申について説明をさせていただきます。平成30年6月5日付けで諮問を受けました、平成31年度に使用する小学校教科用図書及び中学校教科用図書について、調査研究結果また選定委員会の答申を踏まえて、採択理由を説明します。</p>
指導主事	<p>安芸高田市採択地区選定委員会は、安芸高田市教育委員会が定めた教科用図書の採択基本方針に基づき、1.基礎基本の定着。2.主体的に学習に取り組む工夫。3.内容の構成・配列・分量。4.内容の表現・表記。5.言語活動の充実という五つの観点について調査研究を行い、安芸高田市の児童生徒にとって、また、教員にとってもっとも適切な教科用図書はどれであるか審議いたしました。小学校の教科書につきましては、第一推薦を中心に第二推薦をあわせて、中学校の教科書につきましては、来年度より使用されます「特別の教科 道徳」の第一推薦、第二推薦としての教科書について採択理由に挙げている特徴的な事項について教科書を提示しながら説明をいたします。お手元の教科書の見本本をご覧ください、ご協力お願いいたします。これから教科に入ってまいります。大変恐縮ですが、着席させていただいて説明をさせていただきます。</p>
指導主事	<p>国語科について説明いたします。第一推薦は光村図書、第二推薦は東京書籍になっております。現行は、光村図書になっております。4年の上の教科書を基に説明をいたします。光村図書48ページをご覧ください。基礎基本の定着ということで、どのように学習するのか、どう読むか等について手引きが教材の後に、第一推薦、第二推薦ともに示されています。光村図書では読むことの手引きで、1.読みの視点2.発表例を示しています。50ページを見ていただきますと、「たいせつ」と題して身につけたい力を示しています。また、光村図書は読む学習においても各活動の視点を示しており、言語活動の充実を図る工夫がされています。観点2については40ページをご覧ください。光村図書の説明文単元は見開きで文章構成を学ぶ一教材と、学んだことを活用して読む42ページからの二教材のセットの構成であります。これが光村の特色となっております。次に観点3ですが、109ページにお進みください。光村図書は4学年以上では1単元、複数教材・複数目標の総合単元であるということです。どんなことを活かして、書いたり、話したりするとよいかを学習する単元構成になっております。東京書籍の方は、一教材一目標の基本となっております。概ね、上巻では一つの単元に集中して学習する単元を配列し、下巻は各領域の単元を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列しています。以上のことから、現行、第一推薦の光村図書がふさわしいと考えます。以上で</p>

	す。
教育長	それでは、これより質疑に入ります。只今の国語の教科書の説明についての質疑はございませんか。
委員	第二推薦との比較はいかがでしょうか。
指導主事	光村図書の40ページをご覧ください。「大きな力を出す」というところです。東京書籍（4年生）34ページをご覧ください。双方同じく文章構成を学習する単元構成になっているのですが、光村図書の方は最初に、「大きな力を出す」という小単元で、初め・中・終わりを学んだあとに少し長い文章、「動いて・考えて・学ぼう」を示し、最初の学び方を短く学習をして、そのあと本格的に、長文で読んでいく流れになっています。また、48ページからは学びの手引き・学習の方法ということで、文章の内容の捉え方、発表の仕方などが明記されています。それに対して、東京書籍の方は一単元一構成になっていますので、この文章を読み終わったあと手引きというところでまとめや文章構成などを学んで学習を進めていくという形になっています。
教育長	質問については、よろしいでしょうか。
委員	はい。
教育長	それでは、国語科につきまして、質疑・意見等がありましたらお願いいたします。
教育長	よろしいでしょうか。最後にもう一度時間をとりたいと思いますので、とりあえず進ませさせていただきます。
教育長	特に質疑・意見等が無いようですので、国語科については報告いただきましたように、出版社光村図書を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
教育長	異議なしと認め、国語科については出版社光村図書を採択することにいたしました。続いて、書写について説明を求めます。
指導主事	書写については、第一推薦、光村図書、第二推薦、東京書籍となっております。3年生の教科書を基に説明させていただけたらと思います。3年生の11ページをご覧ください。見開きのものです。こちらの冒頭に「漢字の筆づかいをたしかめよう」などのように、筆づかいについての単元の目標を示し、続いて「～に気をつけて書こう」例えば、ここでは「筆づかいに気をつけて横画を書こう」と示されているように、詳しく書かれています。これによって、具体的な観点を示して、指導また、見て書くことができるというようになっていきます。3年生で初めて横画を学習するところです。光村図書は入門期の指導説明が丁寧であると調査報告を受けております。また、光村図書の30ページにあります、部分の組み立てのところですが、3年生上、国語科の「へんとつくり」と連動して一体的に扱える教材となっております。このように各学年一つずつこのような形で、設定されております。また、筆づかいについてイラストを用いて穂先の動きや、筆圧を示しているという特徴もあります。また、国語科の第一推薦と同一にした方が学習しやすいという報告を受けております。以上のことから、現行の光村図書を第一推薦と提案いたします。
教育長	只今の書写についての説明につきまして、質問・意見等いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、質疑・意見等無いようですので、書写につきましては報告を頂きましたように出版社光村図書を採択することに決定して、よろしいでしょうか。
委員一同	はい。
教育長	異議なしと認め、書写につきましては、出版社光村図書を採択することに決定をいたしました。それでは、続いて社会科についての説明を求めます。

指導主事	<p>社会科ですが、第一推薦は日本文教出版、第二推薦は東京書籍になっております。5年生上、日本文教出版2～3ページをご覧ください。「この教科書の仕組み」のコーナーを設けて、学習の仕方を示しているのが特徴です。観点1では、どちらも学習内容・方法等を提示し、「見つける」「調べる」「話し合う」「まとめる」「広げる」などの学習過程とともに、「どんな～でしょう」「どんな～でしようか」等の問いかけの形態で問題を提示しています。第2観点では、「学び方」コーナーや「学び方」「調べ方」コーナーを配列し、問題解決的な学習を進めることができるようにしています。3年生では例えば、47都道府県学び方の例として、何県かを写真や文章等で提示しています。日本文教出版では、クイズ形式や白地図への記入など操作活動を取り入れています。また、6年生の教科書では歴史上の人物の取扱人数、世界文化遺産の取り扱いが多いという報告を受けています。続けて、68～69ページをご覧ください。「振り返ってみよう」のページです。このように、学んだことを表現することとしてまとめ、話し合うことで子どもひとりひとりが見方、考え方がより確かなものになるようにしており、この第一推薦の方が学習を行いやすいという報告を受けております。以上です。</p>
教育長	<p>只今、社会科について説明をいただきました。社会科の説明につきまして質疑・意見等ございませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>それでは、質疑・意見が無いようですので、報告をいただきましたように、社会科につきまして、出版会社日本文教出版の教科書を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、社会科については出版会社日本文教出版を採択することにいたします。つづいて、地図帳につきまして説明をお願いいたします。</p>
指導主事	<p>地図帳では第一推薦は帝国書院、第二推薦は東京書籍になっております。特に、第2観点で帝国書院は、世界の各地方図の2ページにあるように、「世界一周写真館」で、各地域の特徴的な生活や行事等を写真で紹介しています。各地方図で、24ページの右下には「広島市の様子、原爆被害状況」等が載っており、27～28ページには「神戸地域の災害の備え方」など各地域の特徴的な内容を掲載しています。東京書籍の方は、「日本の歴史と世界文化遺産」で昔の国名がついている食べ物や、世界文化遺産等写真やイラストで紹介しています。「世界のおもな国の統計」でオリンピックとワールドカップの開催地を地図上に色分けしております。比較をしたいと思いますので、両方23ページをお開きください。帝国書院のほうは安芸高田市の旧6町を示しております。東京書籍の方は、吉田・八千代・美土里がありません。安芸高田市の子どもたちにはこちら（帝国書院）の方が使いやすいのではないかと。また、地図帳の大きさにおいても規格を教科書サイズとしており、使いやすいという報告を受けております。以上です。</p>
委員	<p>現行はどちらの会社でしょうか。</p>
指導主事	<p>現行は、帝国書院です。</p>
教育長	<p>只今、地図帳について説明を受けましたが、質問等いかかでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>それでは、質疑が無いようですので、地図帳につきましては、出版会社帝国書院を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、地図帳におきましては、出版会社帝国書院を採択することにいたします。</p>
教育長	<p>続いて算数科についての説明を求めます。</p>

指導主事	算数科についてお願いします。第一推薦は東京書籍、第二推薦は教育出版になっております。5年生下の教科書をご覧ください。第1観点において東京書籍は単元の導入で、単元全体に関わる焦点化した問題を提示し、少ない課題でじっくり考えさせるようにしております。例えば、92ページをご覧ください。第一推薦の東京書籍は、単元の中に「おぼえているかな？」を設け既習事項を確認するページが用意されています。また、特設ページ「振り返りコーナー」で学習内容が簡潔に整理され、復習できるようになっています。「表現・表記」においては、34～35ページをご覧ください。全体の色使い、文字の大きさ、太さ、色等に工夫があり、分かりやすいという報告を受けております。特に図や数直線の線が若干太く強調されており、大事な式や考え方・問題を枠で囲み、児童にとって分かりやすいということです。比較をしてみたいと思いますので、教育出版の5年生、184～185ページをご覧ください。少し、色や構成に違いがあることがお分かりいただけるかと思えます。先ほどの太さ・色使い、また枠で囲んであること等が児童には分かりやすいということで、現行の東京書籍の方が学習しやすいという報告を受けております。以上です。
教育長	只今の算数科についての説明に関わって、質問等、いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、算数科につきましては、只今説明がありました、出版会社東京書籍を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
教育長	異議無いようですので、算数科につきましては、出版会社東京書籍を採択することに決定をいたしました。 続いて、理科についての説明を求めます。
指導主事	理科は、第一推薦は啓林館、第二推薦は学校図書になっております。第1観点において、5年生の教科書の166ページをご覧ください。「電磁石のはたらき」のところですが、単元末のまとめでは、絵や写真を使用してのまとめ方が例示され、これに続く「たしかめよう」や「力だめし」で、学習の定着を図るとともに、活用する力を育てる工夫がなされております。また、教科書裏表紙の前に、別冊「わくわく理科プラス」がつけられており、基礎的・基本的な学習事項の習得を図ることができるよう、工夫されています。観点2においては啓林館4ページをご覧ください。「学習の進め方」で、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程にそって分かりやすく構成されています。さらに、別冊「わくわくプラス」との関連を持たせ、既習の学習や経験から新たな学習を始めさせるようにしています。全体の構成においても、啓林館の方は教科書に沿って学習しやすく、習熟を図る工夫がなされており、活用しやすいという報告を受けております。以上です。
教育長	只今の、理科に関わる説明につきまして、質問等ありますでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	質問・意見が無いようですので、報告がありましたように、理科につきましては出版会社啓林館を、採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
教育長	異議が無いようですので、理科につきましては、出版会社啓林館を採択することにいたします。 続いて、生活科についての説明を求めます。
指導主事	生活科は、第一推薦は教育出版、第二推薦は東京書籍です。教育出版の生活科下(巻)88～89ページをご覧ください。こちらでは、「自分のすてきをさがそう」で、「〇〇さんすてきだね」カードを使って、友達のいいところを伝え合う学習活動が設定してあります。また、93ページをご覧ください。このように上巻末・下巻末とも、「ぐんぐんポケット」があり、交通安全・防災・道具の安全

	な使い方などを掲載し、児童が学習活動において具体的に気をつけたり、調べる際の人への関わり方等を学ぶことができたりするという工夫があります。92 ページをご覧ください。観点4では、右スペースに、学習のヒントを示す「はっけんヒント」家庭連携を促す「おうちでちゃれんじ」、自己評価欄となる「振り返る」など学習上の注意点を示しており、学習したことを広げ、発展的な学習につながる工夫がされています。観点5では、伝え合う活動として、地域の人を招いた発表会、新聞やクイズ・実演など設定し、そういった場を設けています。より人との係わり合いや、コミュニケーション能力を高める上で必要な活動がされていると報告を受けています。以上です。
教育長	只今の生活科に係る説明につきまして、質問等ありませんでしょうか。
委員	93 ページに「調べよう」「きろくしよう」「話し合おう」とありますが、そういう順番で取り組んでいこうということですか。使い方が良く分からないのですが。
指導主事	「ぐんぐんポケット」のところをご覧くださいと、「調べよう」「記録しよう」という学習の展開や、方法が書いてあって、104～105 ページでは、「道具をつかう」というところで、「安全面に注意する」「道具の使い方など注意する」ことが明記されています。また、108～109 ページをご覧くださいと、防災について明記されているように、低学年においてこういったことに気をつける、また、こういったことが自分の生活に関わりがあるかということ、皆と一緒にイラストを基に学ぶことができる構成になっています。
委員	93 ページを見て子どもは何をするのですか。このように1～10 まで順番に、活動を続けていくのですか。
指導主事	ここを見ながら、自分はどこのポケットなのかを考え、図鑑的なイメージで、「調べるのであれば1を見れば良いな」ということで、ページをめくって調べることになります。「発表しよう」だったら4のページから、発表の仕方を学ぶという学習をしていきます。また、先ほどお話があったように、1、2、3、4、5と順番に学習することもできます。ただ、6以降は「道具を使う」とか「覚えて安全」という生活の知識的なところも入ってきますので、このとおりの順番にはいかないという面もあります。
委員	1の「しらべよう」は94 ページにあるということですね。
指導主事	はい。目次的に使うということです。以上です。
委員	はい。分かりました。
教育長	その他、いかがでしょうか。
委員一同	ありません。
教育長	それでは、生活科につきましては、報告いただいたように出版会社教育出版を採択することに決定してよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
教育長	異議が無いようですので、生活科につきましては、出版会社教育出版を採択することに決定をいたします。続いて、音楽科についての説明を求めます。
指導主事	音楽科は、第一推薦は教育芸術社、第二推薦は教育出版となっております。第1観点については、5年生の19 ページをご覧ください。題材の目標が目次とともに左側に大きく目立つように示してあります。また、各教材の学習目標が、それぞれトップページの上部に大きく示してあり、指導者や児童が見通しをもって学習に取り組めると報告を受けております。比較してみますと、教育出版5年生の教科書の22～23 ページをご覧ください。「しっかり見通しをもつ」、あるいは「写真がクリアである」「めあてがはっきり示してある」という意味で、教育芸術社のほうが見やすいように感じます。次に観点2です。教育出版は、巻頭において、身の回りのものから音楽に繋がる活動を含

	<p>む題材や、歌手などからのメッセージを掲載して児童が興味をもって取り組めるよう工夫しています。教育芸術社の20～21ページをご覧ください。吹き出しにあるように、「言葉から音楽作りをしていく」では、音楽作りで何を考えどのように言葉にするかを明確に理解できるよう子どもたちの言葉を例示しています。こういった音楽づくりの題材が非常に多いという特徴があります。また、観点3では、低・中・高学年と2学年ずつ系統的な題材構成となっており、前学年の学びが次の学年の学びに繋がるようになっていきます。また、音楽に興味の無い児童でも教育芸術社は題材が多くはありませんが、ゆっくりとねらいを達成する構成になっており、興味が持てる工夫があるという特徴があります。以上です。</p>
教育長	<p>只今の、音楽科についての説明に関わる質問等ありませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>音楽科につきましては、只今ご報告を頂きましたように、出版会社教育芸術社を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
教育長	<p>異議無いようですので、音楽科については、出版会社教育芸術社を採択することにいたします。続いて、図画工作についての説明を求めます。</p>
指導主事	<p>図画工作は、第一推薦は日本文教出版、第二推薦は開隆堂となっております。観点4から説明をさせていただきます。初めて絵の具を使うということで、3・4年生の上(巻)をご覧ください。見開き2ページで4つの目標や学習後の言語活動に繋がる「感じたことを話し合ってみよう」を示しています。また、パレットの活用や片付けも含めて、写真を交えて指導が完結するような工夫がされています。具体的な絵の具の使い方、52～53ページに示しております。パレットの使い方、穴やスペースの意味などと一緒に、絵の具の入れ方などもここで紹介することになっております。指導する上で難しい内容となる洗い方について、ここでは筆の洗い方も詳しく書いてありますが、そういったことも細かく載っております。また、各題材の目標を左上に5種類の色分け(造形遊びをする活動・絵に表す活動・立体に表す活動・工作に表す活動・鑑賞する活動)が文章で示してあります。左上を見ていただいたらマークがあります。児童は、ここで先ほどの5種類の何の学習かということがわかるようになっております。指導者にとっても、「何を教えれば良いのか」というねらいがはっきりしているという特徴があります。比較ということで、開隆堂8～9ページをご覧ください。こちら、「はじめての絵の具のつかいかた」ということで同様に示してあり8ページのページ数の上のところでは道具の使い方もその場で見られるようになっていきます。双方、別ページに絵の具の使い方は、開隆堂は「ファイトコーナー 42～43ページを見よう」ということで紹介がありますが、こちらの方は言語活動に関わる場所が少ないということで日本文教出版のほうが使いやすいという報告を受けております。以上です。</p>
教育長	<p>只今の、図画工作の教科書についての説明につきまして質問等ありませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>質疑等、無いようですので図画工作の教科書につきましては、出版会社日本文教出版を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
教育長	<p>異議なしと認め、図画工作科につきましては、出版会社日本教育出版を採択することに決定をいたします。 続いて、家庭科についての説明を求めます。</p>

指導主事	<p>家庭科は、第一推薦は東京書籍、第二推薦は開隆堂となっています。5・6年生教科書117ページからをご覧ください。観点1の視点から、巻末の拡大版に実物大の写真で作業場面を示しています。上下2枚の写真で、左利き用も示しています。開隆堂には左利きの児童の活動写真はありません。左利きの児童にとっても具体的なイメージできる工夫がされていると報告がありました。また、観点2では東京書籍の30～31ページをご覧ください。「ごはんを炊く学習」にあたります。こちらは写真も多く分かりやすい工夫がされています。東京書籍の方は、ご飯が炊ける様子を空白の欄に書き込めるという工夫がされています。開隆堂と比較をすると、46～47ページです。非常に多くの写真を使って示しているものの、こちらは書き込んだり、観察の記録を書いたりする場所が無いということで、東京書籍の方が使いやすいという報告になっております。観点5について、東京書籍は、課題を見つけ調べて話し合い、まとめて発表するなどの言語活動が多く、ワークシートや計画カードのまとめ方の例が示されていて書く活動が多いという特徴があり、東京書籍を第一推薦とさせていただきます。以上です。</p>
教育長	<p>只今の家庭科の説明につきまして、質問等ありませんでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>質問が無いようですので、報告がありましたように、家庭科につきましては出版会社東京書籍を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
教育長	<p>異議無いようですので、家庭科につきましては出版会社東京書籍を採択することに決定をいたします。</p> <p>続いて、保健についての説明を求めます。</p>
指導主事	<p>保健は、第一推薦は東京書籍、第二推薦は学習研究社となっております。観点1について、東京書籍の教科書の6ページをお開きください。「一日の生活」についての単元です。どちらの教科書も毎時間ごとの学習課題が各項の最初に児童に分かりやすい言葉で掲載されています。また、思考や振り返り・活用などが教科書に提示されており、自分の考えを書き込む欄の設定があり、基礎・基本の定着を図ることができる構成となっております。観点2では、学習活動が「ふり返り」「話し合い」「個人思考」「集団思考」「活用」という展開で構成されている東京書籍の方が使いやすいという意見があります。また、章の最後で学習事項を自己チェックしたり、自らの学習態度を振り返ったりすることができるようになっております。観点5では、自分の考えを選択したり、理由を書いたりする欄が設けてあり、教科書で1時間の学習が振り返られるようになっております。また、「話し合ってみよう」「やってみよう」等で、児童に言語活動を適切に促しているという面があります。観点4については、16ページをご覧ください。「育ちゆく体とわたし」について学習するところです。東京書籍の方では、15ページに赤ちゃんのころから大人になるまでの流れが分かるようになっている等、一連の流れがあります。また、生後11ヶ月の赤ちゃんの実物大の手形や靴を写真で掲載し、児童の成長を実感させる上で効果的に活用されています。また、教科書のサイズが、東京書籍の方がコンパクトで活用しやすいということなので、第一推薦の教科書として提案させていただきます。以上です。</p>
教育長	<p>只今の保健に関わる説明につきまして、質問等ありますでしょうか。</p>
委員一同	<p>ありません。</p>
教育長	<p>質疑等無いようですので、保健につきましては、報告がありましたように出版会社東京書籍を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>

<p>教育長</p>	<p>異議無いようですので、保健の教科につきましては、出版会社東京書籍を採択することに決定をいたします。</p> <p>続いて、最後になります。中学校「特別の教科 道徳」について説明を求めます。</p>
<p>指導主事</p>	<p>中学校「特別の教科 道徳」です。第一推薦は東京書籍、第二推薦は光村図書となっております。本日は1年生の教科書を使って説明をさせて頂きたいと思います。最初に、東京書籍の方から説明をさせていただきます。このサイズがAB版といわれております。特徴としては横幅が広いので、生徒にとっては文字が読みやすいサイズで、しかもページ数もある程度削減できるという特徴があるようです。目次を開いて頂くと、東京書籍は目次にいじめの問題、命に関わる問題については、どこのページにあるかがはっきり分かるように、色分けで明示してあります。例えば、24～30ページはピンクで色分けされています。ここがいじめに関わる場所です。そのまま左のページを見ていただくと、56ページから64ページまで、「命を考える」1・2の項目が一目で分かるようになっております。現代的な課題を踏まえた内容については24～30ページをご覧ください。「いじめの無い世界へ」というところが絵で示してあり、26ページには自分の気持ちを実際に書き込み、グループワークで討議していくことができるようになっております。また27ページで「いじめの無い世界へ」の視点を変えて「傍観者で良いのか」というところから学習が進むようになっております。32ページからは今度は漫画の形になっております。そして34ページのまとめへ繋がる構成になっております。これ以外にも現代における「インターネットにおける問題」、「持続可能な社会へ」ということで環境を大事にする課題も同様に扱われております。今回のいじめを題材として扱ったこのユニットは、いじめを直接扱う題材、いじめは直接扱わないけれども、しっかり考えていくという間接的な題材の二つを、一つのユニットとして組み合わせ、いじめの無い世界へ」として設定されております。また、オリエンテーションのタイトルでは「道徳の授業はこんな時間に」とし、巻頭折込み3ページで学習の流れを示してあります。その後1ページを使い、「話し合いの手引き」を示してあります。全学年「1年間で学ぶこと」と、見開き2ページで4つの視点を示しているのも大きな特徴です。</p> <p>続けて、光村図書です。光村図書の特徴的なところは2～3ページの目次の上のところをご覧ください。1年間で4つのシーズンという形で内容項目とは違った視点で、目次の中に掲載されています。この光村図書も200ページを超え、ページ数としては多い題材を扱い、しっかりと分量が設定されています。各教材が終わるごとに、11ページのように学びのテーマとして、振り返りの発問について1ページ分をとって教科書に掲載されている形になります。次に38～39ページをお願いします。このように、コラムとして年間7つのテーマを設定して、いわゆる問題解決的なものや、体験的なものの学習区分として設定されています。さらに222～223ページには、毎学年、著名人からのメッセージということで2名ほど、直筆の中学生宛のメッセージが教科書の最後に盛り込まれています。最後のところは折込みで学習の記録を生徒が書くように設定されております。比較として東京書籍は、最初にお示しした、「学び方」あるいは、「1年間で学ぶこと」と目次のロードマップが設定されており、巻末176ページから「テーマで振り返ろう」というところと一緒に、「自分の学びを振り返ろう」ということで、いわゆるワークシート形式で振り返るページがあります。学期ごとに自分自身を振り返り、また、「どのようなことを学んだか」「学んでよかったこと」というように一学期分の自分の振り返りができるようになっております。その後ろには、ペンで書いたり消したりできるホワイトボードのページがあります。その後ろには心情円ということで、自分の今の気持ちの動きを視覚的に確認したり、表したり、友達に示したりすることができるという付録もついております。そういった点で東京書籍が非常に使いやすいという報告から、東京書籍を第一推薦</p>

	に提案しております。以上です。
教育長	只今の、中学校「特別の教科 道徳」に関わりまして、質問等いかがでしょうか。
委員	中学校「特別の教科 道徳」は、教科書が出るのは今年が初めてですね。どこの教科書会社も力が入っていると私は思っています。第一推薦東京書籍と、第二推薦光村書籍があるのですが、なぜ東京書籍が第一推薦になったのか、主な理由があれば教えてください。
指導主事	<p>主な理由という意味では、どの教科書も非常に考えられ、練り上げられたものが出ているので、なかなか難しいことではあります。しかし、大きく3点を挙げさせていただこうと思います。</p> <p>1 点目は、現代的な課題等を踏まえ、複数の一つのユニット教材として扱う「いじめの無い世界へ」や「命を考える」等があること。また、明確に分かりやすく設定されているということがあり、その中身は直接的に問題を扱うものと間接的に扱うものが続けて学ぶことができるということです。</p> <p>2 点目は、「道徳の授業はこんな時間に」ということで、話し合いの手引きやプロセスを最初に学び、全体で共通理解を示した後に学習が始まっていくということ。</p> <p>3 点目は、「一年間で学ぶこと」が全学年に示してあり、それに対応して、学期ごとに自分の振り返り・自分の成長を確認することができ、進むことができるというところ。</p> <p>以上3点のことから、この東京書籍が有効であると提案させていただきます。</p>
教育長	よろしいでしょうか。
委員	はい。
教育長	その他にいかがでしょうか。
委員	中学校の教科書でA B版というのは何教科もあるのですか。
指導主事	すみません。そちらのほうは確認しておりません。
委員	生徒の方は思ったより使いにくいかもしれませんね。小学校では地図だけですよね。
指導主事	幅がA 4版、高さがB 5版ということで、大きさ等についてはおそらく問題ないかと思われます。ただ、他の教科書との兼ね合いというところは勉強不足で、申し訳ありません。
委員	持って歩くときに、同じ大きさなら（大丈夫だけど）…と生徒のことを考えてみるのですが…教科書会社も工夫していますね。
教育長	<p>1 ページで、横幅があるので見やすいということで、小学校では随分このサイズが出てきているという傾向はあります。よろしいですか。その他はいかがでしょう。</p> <p>それでは、質問・意見、無いようですので、中学校「特別の教科 道徳」につきましては、報告にありましたように、出版会社東京書籍を採択することを決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同	はい。
教育長	異議無いようですので、中学校「特別の教科 道徳」につきましては、出版会社東京書籍を採択することに決定いたします。
教育長	以上で、すべてが終了したと思いますが、ただいまご審議いただきましたように、議案第 31 号平成 31 年度に安芸高田市立小学校で使用する教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）及び中学校で使用する教科用図書「特別の教科 道徳」の採択につきましては原案のとおりとすることに異議ありませんか
委員一同	ありません。
教育長	ご異議無いようですので、議案第 31 号につきましては、原案のとおりとすることに決定をいたしました。

